



～中学生のための佐原高校情報紙～

佐原高校だより

佐原高校だより 平成 26 年度第 3 号 平成 26 年 7 月 18 日
佐原高校は創立 120 周年 (2020 年) に向けて進化を続けます。

こんにちは！「佐原高校だより」(通称：佐高だより)では、佐原高校での高校生活についてお伝えしていきます。

星輝祭は大盛況でした。

6月27日(金)、28日(土)に「現在進行形→」をテーマに開催された星輝祭は、大盛況のうちに幕を閉じました。特に、28日の一般公開には、昨年2,000人を突破した来校者数をさら上回る約2,200名の方がおいでくださいました。小学生から人生の大先輩まで様々な年代の方に星輝祭を楽しんでいただき、心から感謝申し上げます。

開祭式ではダンス同好会や3年クラティールPRチームのパフォーマンス、写真部作成のムービー、各団体のPRムービーが上映されました。今年も3年生を中心にレベルの高い演劇が上演され、大喝采を浴びていました。

今回から表彰方法を変更し、部門ごとにグランプリを投票で決めました。部門別グランプリは次のとおりです。

- 食品部門 1年E組 牛丼・親子丼販売
- 一般部門 3年G組 お化け屋敷
- 公演部門 3年F組 オペラ座の怪人



全国大会出場決定！

陸上競技部、カヌー同好会、文学部が全国大会への出場を勝ち取りました。出場する人たちに紙上インタビューを行いました。

全国高校総合体育大会出場

陸上競技部 白鳥さゆりさん(佐原中) 女子 1500m



Q：全国大会出場が決定してどう思いましたか。

A：ほっとしました。高校に入っている色々な困難を乗り越えてやっと手に入れた切符だったので素直にうれしかったです。

Q：日々の練習で心掛けていることは何ですか。

A：1日1日の積み重ねが成果として現れるので、1本1本を無駄にせず集中して取り組むようにしています。

Q：全国大会に向けての意気込みと今後の目標を教えてください。

A：せっかくの全国大会を予選1本で終わりにしたくないので、とにかく決勝に残って、自己ベストの4分28秒30よりも早く走りたいです。今後も陸上競技を続けるもりなので、もっと大きな舞台で活躍できるように頑張りたいです。

Q：中学生へのメッセージをお願いします。

A：自分の目標に向かって日々努力すれば、きっと叶うので、あきらめずに頑張ってください。

カヌー同好会 巨和菜さん(小見川中)

女子カヤックシングル 500m、200m

(国体にも小見川高校の生徒ペアで出場)

Q：全国大会出場が決定してどう思いましたか。

A：いろんな大会に出っていますが、3年間で初めてインターハイに出られることになったので、とても嬉しいです。

Q：どのような競技か説明してください。

A：静水の湖や川で直線500m、200mの漕ぐ速さを競います。カヤックでは、船にのり左右交互に漕ぎます。

Q：全国大会に向けての意気込みと今後の目標を教えてください。

A：3年間の集大成として悔いなく漕ぎ切り、1つでも上の順位でゴールできるように精一杯頑張ります。シングルでは2分10秒を切り、(国体の)ペアでは1分50秒台を500mで出せるように頑張ります。

Q：中学生へのメッセージをお願いします。

A：結果が出るまでは時間がかかります。最後まで諦めず頑張ってください。

カヌー同好会 八角 周平くん(小見川中)

男子カナディアン 500m、200m

(国体にも同種目で出場)

Q：全国大会出場が決定してどう思いましたか。

A：中学の時から高校生の中でも競えるように練習をしていたので、その成果が出て良かったと思いました。

Q：どのような競技か説明してください。

A：波のないフラットな水面で直線コースのタイムを競います。カナディアンは立膝の状態で艇に乗り込み、片側のみを漕ぎます。右側を漕ぐなら右だけで、左は漕がないので艇を操作するのが難しいです。

Q：全国大会に向けての意気込みと今後の目標を教えてください。

A：県の代表として出場したからには入賞をして佐原高校や県に貢献したいです。8月6日から全国大会が始まるので、練習を重ねていきたいです。

Q：中学生へのメッセージをお願いします。

A：日々努力して自分の目標に突き進んでください。そのために自分だけでなく、保護者やコーチなど様々な人の協力も必要です。ですから、その方々に感謝をして、期待に応えられるためにも頑張ってください。

全国高校総合文化祭

文学部 土子はる菜さん(佐原五中) 短歌部門

Q：全国大会出場が決定してどう思いましたか。

A：初めて聞いた時は、冗談か人違いだと思いました。実感がわかず、大会が近づいてきた今になってやっと嬉しさと緊張感がこみ上げてきました。

Q：選ばれた作品と作者の思いを教えてください。

A：「笛の音に 急かされ歩く 雑踏に 友の面影 一人さがして」友人との思い出を懐かしお気持ちや、これからの不安と期待がにぎやかなお祭りの雑踏の中にあるような気がしてこの歌を詠みました。

Q：全国大会に向けての意気込みと今後の目標を教えてください。

A：県自分の作品に自信を持ち、文学部の代表としてしっかりとした態度で参加したいと思います。今後の文学部の活動が活発になるよう、全国の代表の方々から様々なことを学びたいです。

Q：中学生へのメッセージをお願いします。

A：文学部と聞くと、堅苦しい感じがします。しかし、実際は逆です。のびのびとした気持ちで真っ白な紙に好きな言葉で自由に世界をつくるのが文学部です。文を書くのが苦手でも、読むのが苦手でも、言葉を楽しめば、日常生活の「おもしろさ」に気付くことができ、毎日が楽しくなると思います。